

令和2年度 魚沼市立 すもんこども保育園 園評価

1 魚沼市保育方針

家庭や地域と協力しながら、楽しくあたたかい雰囲気の中で、子どもの気持ちを尊重し、明るくのびのびとした子どもに育てる。

2 保育目標

- ・明るく元気な子
- ・心豊かな子
- ・自立できる子
- ・人と関わり、共に育ちあう子
- ・自然に目を向け親しむ子

3 園評価の記録

- ・「学校評価」①目標達成計画作成(4月)②目標達成計画・中間評価(9月)③目標達成計画・年度末評価(3月)
- ・「学校評価」保護者アンケート(8月・12月・3月)
- ・園評価についての共通認識(4月)
- ・保育教諭による中間自己評価(9月)
- ・保護者アンケート(3月)
- ・総括的な自己評価(3月)

- A・・・実施されている
- B・・・実施されているが不十分である
- C・・・実施できていない

4 各項目の評価

項目	内容	評価	理由(B、またはCの場合)
保育目標	1. 保育理念、保育目標を職員保護者に周知するために提示している。	A	
	2. 保育理念、保育目標を全職員が共通理解をしている。	A	
園運営	1. 園長・副園長・職員の業務分担を明確にしている。	A	
	2. 職員相互がそれぞれの立場を理解し、園運営にかかわっている。	A	
保育内容	1. 保育指針・こども園教育保育要領に基づき、乳幼児の実態に即した指導計画を作成している。	A	
	2. 保育の計画、評価、反省を常に行い、よりよい保育を目指している。	A	
	3. 全ての園児において、最善の利益と一人ひとりの人権を尊重している。	A	
	4. 行事等のねらいを明確にし、年齢に応じた発達と主体性を育てるようにしている。	A	
	5. 同年齢及び異年齢児間の効果的な保育活動の充実を図っている。	A	
	6. 教育及び保育の内容について保護者の理解が得られるよう努めている。	A	
安全・環境	1. 園内外の安全点検を定期的に行っている。	A	
	2. 緊急時のために、関係機関等の連絡先が明示されている。	A	
	3. 消防計画を作成し、毎月避難訓練を行い、非常時に避難誘導できる体制をつくっている。	A	
	4. 衛生面に配慮している。	A	
	5. 安全で心地よく過ごせるよう、採光や換気、温度、湿度に配慮している。	A	

A・・・実施されている
 B・・・実施されているが不十分である
 C・・・実施できていない

項目	内容	評価	理由(B、またはCの場合)
健康管理	1. 健康診断を定期的実施し、結果を保護者に伝えている。	A	
	2. 感染症等の予防対策やマニュアルが用意されている。	A	
	3. 玩具、遊具等は常に衛生的に保持している。	A	
給食	1. 食育計画に基づき、楽しく食事ができる環境にしている。	A	
	2. 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている。	A	
	3. 食物アレルギーのある園児には適切な対応をしている。	A	
保護者対応	1. 保護者への対応は丁寧にいき、不安や不信感を感じさせないように努めている。	A	
	2. 苦情解決の仕組みを掲示し、適切に対処している。	A	
	3. 個別懇談等で保護者との連携を図り、園児を理解するよう努めている。	A	
守秘義務	1. 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している。	A	
	2. 園児の個人記録は、個人情報保護法に基づき管理保管している。	A	
か地 か域 わと りの	1. 地域の行事に参加したり協力したりしている。	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、参加行事が中止となりました。
	2. 高齢者や、小中学校等との交流をしている。	A	新型コロナウイルス感染症対策のため、高齢者との交流事業は中止しましたが、地元の高齢者へ園児からのプレゼントをお渡ししました。また、対策を講じながら幼小交流事業を実施しました。

5 よりよい保育を行っていくための改善策

・新型コロナウイルス感染症の影響により、園行事や子ども達の活動が計画通りできない状況ではありますが、すもんこども園の「教育・保育目標」「重点目標」「クラス運営」等についての情報発信の機会を多く準備し、保護者の思いに丁寧に寄り添い信頼関係を築けるように努めていきます。

・園内外の研修を通して職員の資質向上を図り、専門的な知識を職員全員が共通理解・共通認識の基、子ども達一人ひとりの思いを大切に温かい教育・保育の実現の為、学校評価等を活用し計画・実践・反省・評価を行っていきます。

・地元小中学校や関係機関と連携を取り合い、保護者一人ひとりの思いに寄り添った子育ての援助を行っていきます。

・園児の健康観察や適切な衛生環境を心掛け、感染症情報を保護者や職員と共有し、安心・安全な教育・保育環境の提供に努めていきます。

・地域子育て支援事業「親子広場・かるがも」の利用者は減少傾向にありますが、今後も利用者の思いに寄り添い、楽しい遊びの提供と相談しやすい雰囲気作りを中心に、地域子育て支援事業の拠点としての役割を果たしていきます。